

## 一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内  
 TEL. 03-3433-5391 FAX. 03-3434-3354  
 西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木 234 番地  
 川崎重工業（株）精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内  
 TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

### 第 2 2 回定時総会開催される

第 22 回定時総会が 5 月 20 日（木）15:30 ~ 16:50 までの間、東京プリンスホテル「サンフレーザーホール」において開催された。

はじめに、定款第 15 条の定めるところにより、安藤会長が議長席につき、一般社団法人日本フルードパワー工業会第 22 回定時総会を宣言した。

続いて、安藤会長及び経済産業省製造産業局審議官である福永哲郎様のご挨拶（後述）をいただいた。なお、これらの挨拶の様子はマスコミ関係者及び会員等に Web 配信された。

議長から本総会の出席状況について事務局より説明するよう要請があり、事務局は、本総会には正会員総数 60 社に対し、出席会員企業が 22



第 2 2 回定時総会（東京プリンスホテル）

### 主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 22 回定時総会開催・・・・・・・・・・ 1

#### 委員会開催・活動状況

標準化事業／ISO 対策事業・・・・・・・・・・ 5

標準化事業／規格事業・・・・・・・・・・ 6

技術調査事業・・・・・・・・・・ 6

広報・PR 事業・・・・・・・・・・ 7

委員会の委員長・部会長・・・・・・・・・・ 8

工業会ニュース・・・・・・・・・・ 8

今後の主要行事・・・・・・・・・・ 8

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

社、委任状提出会員企業が37社となっており、定款第17条に定めるところの過半数に達していることから、第22回定時総会は有効に成立している旨の報告をした。

審議に入る前に、議長から定款第19条により次の2名の議事録署名人の指名があった。

神威産業株式会社 十萬社長  
株式会社マツイ 松井社長

(1) 第1号議案 2020年度事業報告書及び決算報告書(案)に関する件

議長は第1号議案を審議する旨議場に告げ、事務局に説明を求めた。

事務局は「資料1号」に基づき、需要対策事業、国際交流事業、標準化事業、技術調査事業、広報・PR事業、中小企業関連事業、振興対策・PL対策・その他事業の重点事業を主体に事業報告を行った。

次に、これらの事業の実施に伴う予算の執行状況等決算報告書(案)について、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書等を基に、コロナ禍で会員の年会費を25%減にしたが、海外出張や会議室利用が激減したことで、事業活動収支差額が200万円弱のマイナスに収まったことを説明した。

次いで、議長は監事による監査報告を求め向監事から「適正である」旨の監査報告があった。

議長は第1号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

(2) 第2号議案 2021年度事業計画書及び予算書に関する件

議長は第2号議案を審議する旨議場に告げ、事務局に説明を求めた。

事務局は「資料2号」に基づき、昨年度の工業会活動は、3密を避けるWEB会議が多く、海外視察団の派遣やIEPEX、年始会等が中止せざるを得なかったが、今年度はワクチン接種などの国の諸施策により、アフターコロナ時代に沿った、より効率化させた事業を目指し、特に国が進めるゼロカーボン社会に向かって、水素関連技術等クリーンエネルギー関連技術の情報収集や将来を担う若手技術者の育成策を推進し、加えて、フルードパワー業界・企業をより広く深く広報していくために、1年延期したIFPEX2021の成功に向けて、委員会や部会・分科会活動を中心に事業を実施していく旨を説明した。

次に、これら事業の実施に伴う予算書について説明した。収入の部では、今年度も昨年度に引き

続き、会員の年会費を25%減にしたこと、また、2021年4月1日に2021年度小型自動車等機械工業振興事業に関する補助金交付決定通知が届いたので、フルードパワーの国際競争力に資する標準化の推進を今年度も進めることを報告した。支出の部では、事業計画でも説明した通り、アフターコロナに対応した活動を推進する計画なので、事業活動収支差額は、2000万円弱のマイナスになることの理解を求めた。

議長は第2号議案を議場に諮ったところ、全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

(3) 第3号議案 理事交代に関する件

議長は第3号議案を審議する旨議場に告げ、事務局に説明を求めた。

事務局は「資料3号」に基づき、理事1名が事業の都合により本定時総会をもって理事を退任し、新任理事候補者1名の推薦を得ている旨の報告を行った。詳細は次の通り。

新任理事 安藤 清殿 ナブテスコ(株)  
執行役員 パワーコントロールカンパニー社長

退任理事 十萬 真司殿 元ナブテスコ(株)  
代表取締役 専務執行役員

議長は第3号議案を議場に諮ったところ全員異議なく原案の通りこれを承認可決した。

以上をもって、すべての審議が終了、議長は閉会を宣言して、第22回定時総会は16時50分に終了した。

※安藤会長の挨拶(抜粋)

皆さんこんにちは、会長の安藤でございます。一言、ご挨拶をさせていただきます。

本日はご多忙のなか、第22回定時総会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、経済産業省 製造産業局審議官・福永哲郎様にご来賓としてご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年来から、世界中を混乱させている新型コロナウイルスですが、わが国では3度目の緊急事態宣言が発出され、東京都では当初予定の5月11日終了が31日まで期間延長される事態となっています。本総会の開催についても昨年同様に書面審議での実施も検討しましたが、これまでのコロナ経験をもとに、今回は十分な感染



挨拶をする安藤会長

予防対策を行い、最小限の規模で実施させていただくこととしました。然しながら、通常は総会後にご来賓や関係団体の方々を交えての懇親会を開催いたしますが、今回は昨今の感染状況を鑑み、残念ながら中止とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願いいたします。

前置きが長くなりましたが、足元の景況感について、少しお話をさせていただきます。以前、お配りしました本年4月時点での2020年の需要見通しでは、2020年の暦年ベースの出荷額は、油圧機器で対前年比13.2%ダウンの3,371億円、空気圧機器では対前年比0.6%ダウンの4,120億円となりました。これを対前年度比ベースで見ますと、事務局の最新の集計では油圧機器は、対前年度比10.6%ダウンの3,382億円、(配布資料では3,348億円、-11.5%) 空気圧機器は、同1.9%アップの4,231億円、(配布資料では4,120億円+1.4%) 全体では対前年度比マイナス4.1%の7,613億円となっております。このように前年度比のデータから油圧機器、空圧機器共に暦年に比べ回復傾向にあることを示しています。

2021年度の予測は各市場まだけ模様ではありますが、工作機械や半導体製造装置等の業況改善によりまして、油圧機器では昨年度に比べて+8.6%、空気圧機器も+10.8%の伸びを予想しております。

さて、工業会活動では、委員会・部会活動もWeb形式によるものが増えてきましたが、やむなく中止する事業もあり、会員様各位には大変ご迷惑をおかけしているところでございます。今年度は、今後のアフターコロナの時代に備え、工業会としては持続可能な長期スパン

の活動に、より軸足を移していきたいと考えております。一つ目は、フルードパワー業界の人材育成です。技術委員会などを中心に、研修事業等を一層充実させ若手育成の場として広く活用していきたいと考えております。二つ目は、フルードパワー産業の魅力を広く社会に伝えていくことです。今年、10月にIFPEXフルードパワー国際見本市を予定しております。このような活動を通じて、フルードパワーの魅力を広く提示し、多くの若く有能な人材が我々の業界に集まり活躍するきっかけになればと期待しております。また、各国の工業会との連携・意思疎通を一層深め、国際的な交流を通じた業界の人材育成につなげていく所存でございます。三つ目としては、統計や標準化活動などを通じたフルードパワー基盤の整備です。この6年間、国からの支援を受けてきた水圧技術の国際標準化ですが、この秋には国際標準になる見込みとなっており、フルードパワー分野では、日本提案が初めて国際標準になります。国際標準は、世界市場に出ていくためには必要不可欠なものであり、今後も、地道に対応を進めてまいります。

最近ではテレビのコマーシャルでもよく耳にする2015年の国連サミットで採択されたSDGsですが、ご承知の通りSDGsには17の開発目標があり、その全てが重要なグローバル目標であります。因みにこの中の12番目の目標は「つくる責任・つかう責任」となっています。工業会の皆様方には両方の責任があるわけですが、特につくる側から見ると、環境や資源の保護につながる少資源で高品質を両立する革新的な生産、エネルギーの大幅削減を可能とする画期的な生産効率向上、廃棄物の大幅削減を可能とする新しい生産方法の創出など、Society5.0を通じたイノベーションによって皆さんが課題解決を図り、つくる責任を果たしていくことを期待しております。工業会としても2030年のSDGs17の目標実現に向けた活動支援の取り組みを会員の皆さまと連携して展開していく所存でございます。感染防止に向け各種活動にも制約が多く、会員様各位にご迷惑をおかけしているところでございます。ご理解とともに、ご支援宜しくお願い申し上げます。また、コロナ禍による厳しい状況が続いておりますが、私達の適切な行動によって感染収束を引き寄せることを願っております。

最後になりましたが、本日ここにご来賓、ご主席の皆様方のご健勝、そして会員様各社のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

たきます。

ありがとうございました。

次に、ご来賓の経済産業省大臣官房審議官製造局担当福永哲郎氏からご挨拶を戴いた。



挨拶をする福永審議官

経済産業省大臣官房審議官で製造局を担当する福永です。本日の一般社団法人日本フルードパワー工業会の総会の開催に当たりまして、簡単にご挨拶させていただきます。

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が続く中、万全の対策をとる中で、開催に向かわれたこと皆様に敬意を表します。新型コロナウイルスの蔓延から厳しい状況が続いております。この間、業界の皆様方におかれましては、テレワークの推進など様々なご協力をいただいております。今後はワクチン接種の加速など、企業に皆様方のご協力も得ながらしっかりと対策を進めてまいりたいと考えております。こうしたコロナ禍の対応の中で、テレワークや非接触といった生活様式の変化、更には産業構造や社会システムの変化など、日本のみならず世界で加速しております。先ほど会長からSDGsのお話がありましたが、それにつながるものとして、グリーン、デジタル、サプライチェーンの強靱化を図る動きが世界規模で進められていると認識しております。

まず、グリーン・グリーン社会の展開に向けてですが、わが国では昨年2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すと菅総理が発言しておりますが、昨年末に策定したグリーン成長戦略に基づいて、自動車蓄電池産業、半導体産業、洋上風力産業、水素産業始め、皆様の産業など重要な産業分野と位置付け、成長戦略を推進していきます。また先月開催された米国バイデン大統領

主催の気候サミットでは、わが国は、菅総理が、温室効果ガスの削減について、2030年度において2013年度を基準として46%削減、更に50%削減の高みに向け挑戦を続けていく決意を表明しました。現在世界でも先進国を中心に125を超える国と地域が、2050年までにカーボンニュートラルの実現を日本同様に打ち出して目指していますが、皆様におかれましてはカーボンニュートラルの実現を制約と捉えるのではなく新たなビジネスチャンス、新たな革新的サービスを行う機会と捉え取り組んでいただけるものと期待しておりますし、そうした努力を政府としても一生懸命後押しして参る所存であります。

次にデジタル・デジタルトランスフォーメーションですが、このコロナ禍の中でようやく加速してきたものと思っております。デジタル技術は新たな需要を支える非常に重要なツールであり、その基盤である半導体始め様々な関連の部材も重要です。産業機械業界では、システム化への対応として、立会や据付け業務のオンライン化、ネットワークでの機械の保守、予防保全サービスの提供、オンライン展示会の開催など、コロナ禍だからこそ進めることができると承知しております。また、工場の自動化や様々なデジタル化への対応は新たなビジネスチャンスになると期待しています。このデジタルという観点から政府としても企業の皆様の新しい挑戦をしっかりと支援させていただくことを成長戦略として推進して参ります。本年10月には、工業会の主催で、IFPEX・フルードパワー国際見本市2021が開催されると聞いております。将に、先ほどご紹介させていただいた形で自動化やロボットなどの高度化に寄与するフルードパワー技術力が世界に向けて発信されることを期待しております。

サプライチェーンの強靱化ですが、以前から続く米中技術摩擦、世界中に発生する自然災害の発生を契機に、日本のみならず世界各地でますますその重要性が明らかになってきています。この中で日本の油空圧機器が、日本の更に言えば世界の製造業を支える重要な技術であることは、いろいろな形で明らかになってきているのではないのでしょうか。政府としては、サプライチェーンの強靱化に向けては、設備投資等を支援する様々な支援制度要求し推進していこうとしておりますので、是非こうした制度の活用を含めて皆様における技術を世界のサプライチェーンの強靱化に貢献させていただきたいと考えております。

最後になりますが、グリーン、デジタル、サプライチェーンの強靱化、今般の課題も多いですが、我が国の製造業は今後もイノベーションを駆使

し、更に成長できることを確信しております。引き続き、現場の皆様の生の声をお伺いしながらそれを政策に反映させていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくご指導をお願いしたいと思っております。

最後になりましたが、日本フルードパワー工業会の皆様の益々の更なるご発展を祈念して挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

## 第59回 JFPA 親善ゴルフ大会

総会翌日の5月21日（金）に横浜カントリークラブ東コースにおいて標記親善ゴルフ会を開催しました。小雨模様ではありましたが9時48分にOUT2組・IN2組で同時にスタートし、晴れ間も現れる中、プレーは順調に進行しました。優勝は、CKD(株)、梶本社長でした。おめでとうございます。

## 委員会開催・活動状況報告

（詳細については各担当者にご照会下さい）

~~~~~  
**標準化事業／ISO 対策事業**  
 ~~~~~

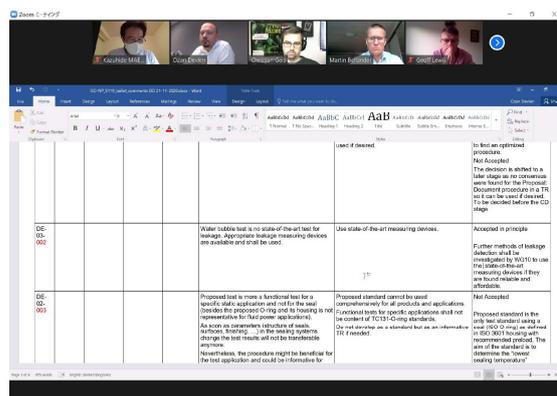
### ISO/TC131 関連国際会議

5月17日から21日の期間において、ISO/TC131 関連の国際会議が、コロナ禍につきウェブ会議にて開催された。

開催された会議は以下の通り：TC131/SC9/WG1（油圧システム）、TC131/SC9/WG2（空気圧システム）、TC131/WG4（空気圧機器の信頼性評価）、TC131/SC7/WG3（Oリングの設計基準）、TC131/SC1/WG2（用語）、SC5/WG5（空気の調質）TC131（油圧・空気圧システム）、TC131/SC8/WG14（水圧ポンプの試験）、TC131/SC7/WG10（エラストマーシールの低温シール能力）。

日本から、妹尾委員（SMC）、小田委員（甲南電機）、土岐委員人（コガネイ）、町田委員（東京計器）、宗岡委員（NOK）、南委員（バルカー）、中曽根名誉教授（東京理科大学）、柳田教授（豊橋技術科学大学）、眞田教授（横浜国立大学）、高傘礼 SC7 議長（JFPA）、大野委員（JFPA）及び筆者（事務局）の12名が参加した。

会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。



ウェブ会議の様子

### 空気圧調質機器分科会

日時 5月25日（火）、13:30～16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 土岐主査以下5名（うちリモート:5）

事務局 前畑

#### 議事

前回議事録の確認後、2020年度活動実績および2021年度活動計画について報告があった。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。2021年8月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年秋季（10月）は日本（姫路）で計画されていたが、コロナウイルスの影響が終息しないため、バーチャルでの開催に変更になったとのこと。また、今月（5/20）開催されたISO/TC131/SC5/WG5 国際会議（ウェブ会議）の参加報告があった。予定されていた議題が終了しなかったため、7月に再会議予定とのこと。

次いで、JIS\_B8672-4（空気圧一試験による機器の信頼性評価—第4部：減圧弁）改正について審議した。対応国際規格（ISO\_19973-4）の原文と比較しながら原案修正作業を実施した。次回開催：7月20日、機械振興会館＋リモート

~~~~~  
**標準化事業／規格事業**  
 ~~~~~

### 油圧フィルタ・作動油分科会

日時 5月11日（火）13:30～16:00

場所 機械振興会館 JFPA 会議室＋リモート

出席者 難波主査以下5名（うちリモート:5）

事務局 前畑

#### 議事

委員の交代があり、大塚委員（油研工業）から長谷川委員に交代された。

前回議事録の確認後、2020年度活動実績および

2021年度活動計画について報告があった。

次いで、ISO投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/FDIS\_23369→Disapproveで投票済み、N834\_Resolution→Approveで投票済み、とのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/SR\_7745→Revise/Amendで投票、とした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年7月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年の開催計画として、春季(5月)はバーチャル、秋季(10月)は日本(姫路)で計画されているとのこと。

次いで、ISO\_18413のJIS化について、各委員の担当範囲を決定すると共に、原案作成作業に着手した。

次回開催：8月5日、機械振興会館+リモート

#### 空気圧コンタミ分科会

日時 5月13日(木)、13:30~17:00  
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート  
出席者 田中主査以下4名(うちリモート:4)  
事務局 前畑  
議事

前回議事録の確認後、ISO国際会議について情報共有した。2021年8月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。

次いで、JIS\_B8392-2(圧縮空気-第2部:オイルミストの試験方法)の改正について、対応国際規格(ISO\_8573-2)と比較しながら、原案の修正作業を行った。

次回開催：7月13日、機械振興会館+リモート

#### 空気圧バルブ分科会

日時 5月26日(水)、13:30~16:00  
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート  
出席者 石毛主査以下6名(うちリモート:6)  
事務局 前畑  
議事

主査の交代があり、夏目前主査(CKD)から石毛新主査(TAIYO)に交代された。

前回議事録の確認後、2020年度活動実績および2021年度活動計画について報告があった。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年8月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年秋季(10月)は日本(姫路)で計画され

ていたが、コロナウイルスの影響が終息しないため、バーチャルでの開催に変更になったとのこと。

次いで、JIS\_B8672-2(空気圧-試験による機器の信頼性評価-第2部:方向制御弁)の改正について対応国際規格(ISO\_19973-2)と比較しながら修正作業を行った。

次回開催：7月27日、機械振興会館+リモート

#### 空気圧継手・チューブ分科会

日時 5月27日(木)、13:30~16:00  
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート  
出席者 浅里主査以下4名(うちリモート:4)  
事務局 前畑  
議事

前回議事録の確認後、2020年度活動実績および2021年度活動計画について報告があった。

次いで、ISO投票案件について、新規投票案件を審議し、ISO/CD\_16030→Approvalで投票、とした。

次いで、ISO国際会議について情報共有した。2021年8月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ているとのこと。また、2021年秋季(10月)は日本(姫路)で計画されていたが、コロナウイルスの影響が終息しないため、バーチャルでの開催に変更になったとのこと。

次いで、ISO/TS\_11619(Polyurethane tubing for use primarily in pneumatic installations - Dimensions and specification)のJIS化の進め方について討議した。

次いで、空気圧流量測定分科会で審議中のJIS\_B8390(空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法)の改正について、当分科会で担当しているJIS\_B8381-1(空気圧用継手-第1部:熱可塑性樹脂チューブ用プッシュイン継手)との関連から改正要望事項をまとめ、審議依頼することとした。

次回開催：7月24日、機械振興会館+リモート

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会 水圧部会第1回幹部会  
日時 5月20日(木) 10:30~12:00  
場所 Web会議  
参加者 4名  
事務局 大橋

1. IFPEX2021共同展示に関する今後の検討  
井口委員よりスケジュール案の説明を受けた。

IFPEX 出展申し込み〆切 (5/E) 後に小間の大きさが決まれば配置と展示内容を確定する。配布資料として、A5 サイズパンフレットの更新案を先行して作成し、その内容を基にパネル、案内 DM 等に展開していく。ある程度具体化した段階で水圧部会を開催し、出展企業の調整と費用面の確認、全体計画を作成する。

2. 次回開催：2021 年 6 月 20 日前後で調整。

技術委員会空気圧部会第 578 回特許分科会

日時 5 月 21 日 (金) 13:30 ~ 14:30

場所 Web 会議

出席者 今野幹事以下 4 名

事務局 吉田

議事

前回議事録確認後、公報の検討と無効理由調査について審議した。

1 件については弁理士の見解書案文作成を待つこととなった。1 件については引き続き調査をすることとした。1 件については引き続きウォッチングをしていくこととした。1 件の新規案件が提出され調査検討することとなった。

次回開催：6 月 11 日 (金) Web 会議

技術委員会 技術企画小委員会 (第 5 回)

日時 5 月 25 日 (火) 10:30 ~ 12:00

場所 Web 会議

出席者 井川空気圧部会長、満嶋 IoT 推進部会長 (新)、兵藤油圧部会長 (新)、浦井技術標準化委員

事務局 大橋

議事

最初に、本日の参加者として、新たに就任を委嘱した東京計器・兵藤訓一油圧部会長、及び IoT 関係の意見を伺うために参加いただいたボッシュ・レックスの浦井部長を紹介し、併せて、今後の技術委員会、同企画委員会の推進体制について、事務局から説明した。

1. 2021 年度若手技術者懇談会

井川部会長作成資料の説明を受けた。

第 1 回は 8 月に「SDG s」講演会開催 (Web 形式)、第 2 回は 2022 年 2 月に「カーボンニュートラル」関連の自動車・同部品メーカー工場見学開催 (可能であればリアル形式) を目途に計画する。具体化は、井川部会長と兵藤部会長にて取り組む。

なお、講演講師の候補一社 (SDG s 推進センター) は謝礼が高額なため、引き続き検討する。

2. IoT 推進部会

満嶋部会長作成資料の説明を受けた。

一言で IoT といっても幅広いため、活動の目的を

どこに置くかが課題であり、標準化の視点からも検討が必要である。JAPIA の「製造 DX 研究会」の活動も共有していきたい。

初回講演は、大元の経産省に依頼したい。その後は、企業や大学、業界団体・公的機関などによる講演、さらに、ユーザ企業のほか、例えば産総研などへの見学会の実施を計画する。

また、早期に各社の IoT 推進に関する実態 (課題事項や工業会に提供を期待する情報なども含む) をアンケート調査したい。

浦井オブザーバーから、「IoT はどこでもつながるということなので、世界的な話になる。海外の動き、外国企業、特に中国なども知る必要がある。」との提言があった。

PLC は標準化できていないため、業界団体の横の連携が取れるとよい。ただし、各社の開示情報には守秘義務が必要。

第 1 回目を開催するにあたり、油圧・空気圧各一人以上の委員に加わってもらい、6 月に準備会議を行う。追加メンバーは事務局であたる。

次回開催：6 月下旬にて調整する。

~~~~~

## 広報・PR 事業

~~~~~

第 99 回編集委員会

日時 5 月 26 日 (水) 13:30 ~ 15:00

場所 Web 会議

出席者 稲垣委員長以下 13 名

事務局 大橋

議事

稲垣新委員長の開会挨拶、新委員の自己紹介の後、宮主査の司会により議事に入った。

1. VOL. 34~VOL. 35 発行実績と予定報告

前回編集委員会以後の発行実績 (V34 秋号~V35 春号)、及び VOL. 35 夏号 (IFPEX 特集) の発刊月を 8 月に延期することを報告した。予知保全特集の第 3 回は夏号から秋号掲載に移行する。

2. VOL. 36 年間企画と記事提案状況

2022 年の年間企画表にて、寄稿依頼状況、記事の傾向などを説明した。ミニ知識、ずいひつなどの連載記事や会員企業の窓などの継続掲載記事がテーマ・寄稿者共に未定のため早期提案が望まれる。日立建機殿の解説記事 (建設機械とフルードパワー) は、技術講座への変更を最近依頼し承諾を得たことを報告した。

引き続き各委員から新規記事提案の説明を受け、今後事務局にて個別に調整を行う。研究室訪問先は、年間を通してほぼ決まりつつある。

なお、ずいひつは小山顧問に2回程度の執筆をお願いした。また、特集記事として検討中の「水素エネルギー」は、本間委員作成の企画書の詳しい説明を受けた。今後の特集記事構成の検討チームは、参画希望者がなく構成できなかったため、全委員に企画書別表中の記事候補につき掲載希望を募ることとした。

### 3. その他

・委員の任期は、編集委員会の規程には定めずに募集時及び委嘱時に3～5年を目安にすることとした。

・第131回WG：7/～E開催を目途に調整する。

・第100回編集委員会：IFPEX終了以降の10/E～11/M開催を目途に調整する。

~~~~~

### 今年度の委員会の委員長・部会長

~~~~~

#### 需要対策事業

総需要委員会	部会長	松井紀人	KYB
油圧部会	主査	松井紀人	KYB
空気圧部会	主査	高下修	SMC

#### 国際交流事業

国際委員会	委員長	新開諭	甲南電機
副委員長	澤田 啓支朗	タイオンタジヨナル	

#### 標準化事業

標準化委員会	委員長	安藤毅	東京計器
ISO部会	部会長	眞田一志	横国大
規格部会	部会長	浦井隆宏	ボッシュ・レックスロス

#### 技術調査事業

技術委員会	委員長	嶋村英彦	川崎重工業
油圧部会	部会長	兵藤訓一	東京計器
空気圧部会	部会長	井川 彰	CKD
IoT推進部会	部会長	満嶋弘二	KYB

#### 広報・PR事業

編集委員会	委員長	稲垣郁夫	KYB
	副委員長	水野純一	CKD
編集委員会WG	主査	宮能治	KYB

#### 中小企業関連事業

中小企業委員会委員長	十萬幹雄	神威産業
副委員長	杉村 登夢	NACOL
中小WG幹事	風間 英朗	NACOL
幹事	山崎 真人	廣瀬バルブ

#### 振興・PL・その他事業

産機・建機部会	部会長	寺田稔	ダイキン工業
シリンダ部会	部会長	大槻兼誠	KYB
空気圧本部会	部会長	湯原真司	CKD

~~~~~

### 工業会ニュース

~~~~~

☆2021年度油圧・空気圧講座（初級）のお知らせ  
下記日時にて第一回目の講座を実施します。

○6月28日(月)	13:00～16:20	空気圧基礎講座(座学)
○6月30日(水)	13:00～16:30	空気圧基礎講座(製品実習)
○7月6日(火)	10:30～16:00	油圧基礎講座(座学)

~~~~~

### 今後の主要行事予定

~~~~~

☆7月15日(木)	国際委員会
☆7月21日(水)	中小企業委員会
☆11月11日(木)	西日本支部総会 第92回理事会
☆11月12日(金)	親睦ゴルフ会

※2022年

☆1月12日(水)	第93回理事会 2022年年始会
-----------	---------------------

~~~~~

5月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業/ISO対策事業)

ISO/TC131 関連国際会議 (ウェブ会議)

開催日 5月17日(月)～21日(金)

出席者

委員	妹尾満 (SMC)
〃	小田敏裕 (甲南電機)
〃	土岐真人 (コガネイ)
〃	町田哲治 (東京計器)
〃	宗岡祥平 (NOK)
〃	南暢 (バルカー)
〃	中曾根祐司 (東京理科大学)
〃	柳田秀記 (豊橋技術科学大学)

〃 眞田一志（横浜国立大学）  
〃 高牟礼辰雄（J F P A）  
〃 大野淳一（J F P A）

#### 空気圧調質機器分科会

開催日 5月25日(火)

出席者

主査 土岐真人（コガネイ）※  
委員 檜垣匡光（SMC）※  
〃 阪上隆之（甲南電機）※  
〃 國崎雄嗣（CKD）※  
〃 宮本秀樹（TAIYO）※

※印はリモート参加

（標準化事業／規格事業）

#### 油圧フィルタ・作動油分科会

開催日 5月11日(火)

出席者

主査 難波竹己（日本ポール）※  
委員 遠藤剛（SMC）※  
〃 水落桂（大生工業）※  
〃 長谷川康憲（油研工業）※  
〃 三好真介（MORESCO）※

※印はリモート参加

#### 空気圧コンタミ分科会

開催日 5月13日(木)

出席者

主査 田中崇行（SMC）※  
委員 藤原輝彦（コガネイ）※  
〃 大嶽康行（CKD）※  
特別参加 伊藤輝（日本規格協会）※

※印はリモート参加

#### 空気圧バルブ分科会

開催日 5月26日(水)

出席者

主査 石毛浩二（TAIYO）※  
委員 山崎慎也（SMC）※  
〃 田路渡（甲南電機）※  
〃 夏目清辰（CKD）※  
〃 八手又秀浩（日本ピスコ）※  
〃 鈴木一成（妙徳）※

※印はリモート参加

#### 空気圧継手・チューブ分科会

開催日 5月27日(木)

出席者

主査 浅里信之（ニッタ）※  
委員 高梨暁人（SMC）※  
〃 大場良太郎（コガネイ）※

〃 八手又秀浩（日本ピスコ）※  
※印はリモート参加

（技術調査事業）

#### 技術委員会 水圧部会第1回幹部会

日時 5月20日(水)

出席者

委員 内田 晃（日本アキュムレータ）  
〃 井口 務（廣瀬バルブ工業）  
〃 田邊康弘（廣瀬バルブ工業）  
〃 高橋祐輔（阪上製作所）

#### 技術委員会空気圧部会第578回特許分科会

開催日 5月21日(金)

出席者

幹事 今野英俊（コガネイ）  
委員 井野雅康（SMC）  
〃 安田善仁（甲南電機）  
〃 細田一也（CKD）

#### 技術委員会 技術企画小委員会（第5回）

開催日 5月25日(火)

出席者

空気圧部会長 井川 彰（CKD）  
油圧部会長（新） 兵藤訓一（東京計器）  
IoT推進部会長（新） 満嶋弘二（KYB）  
オブザーバー 浦井隆宏（ホッシュ・レックスロス）

（広報・PR事業）

#### 第99回編集委員会

開催日 5月26日(水)

出席者

委員長 稲垣郁夫（KYB）  
副委員長 水野純一（CKD）  
WG主査 宮 能治（KYB）  
顧問 北川 能（元東工大）  
顧問 小山 紀（元明治大）  
委員 本間伸一（SMC）  
〃 松川正克（阪上製作所）  
〃 高柳 泉（シェル・ルブリカント・ジャパン）  
〃 東川智信（元TAIYO）  
〃 山田真の介（TAIYO）  
〃 安永和敏（東京計器）  
〃 浦井隆宏（ホッシュ・レックスロス）  
〃 宮坂 篤（油研工業）  
オブザーバー 東川智信（元TAIYO）

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<5月>

- 11日(火)
  - ・標準化(委) フィルタ作動油分科会
- 13日(木)
  - ・標準化(委) 空気圧コンタミ分科会
- 17日(月)～21日(金)
  - ・ISO/TC131 関連国際会議
- 20日(水)
  - ・技術(委) 水圧部会第1回幹部会
- 21日(金)
  - ・技術(委) 空気圧部会第578回特許分科会
- 25日(火)
  - ・ISO(委) 空気圧調質機器分科会
  - ・技術(委) 技術企画小委員会
- 26日(水)
  - ・標準化(委) 空気圧バルブ分科会
  - ・広報・PR 第99回編集委員会
- 27日(木)
  - ・標準化(委) 空気圧継手・チューブ分科会

---

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

---